

## 平成 28 年 9 月 定例教育委員会会議録

平成 28 年 9 月 定例教育委員会は、9 月 5 日（月）大府市役所 5 階 委員会室 1 に招集し、次のとおり審議した。

### ○出席した委員

一番席委員 河合 昌和	二番席委員 永田 司	三番席委員 西村 和子
四番席委員 竹中 万里	五番席委員 浅井 宣亮	六番席委員 細谷 正明

### ○議案説明のため出席した事務局職員

指導主事、学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課庶務施設係長、学校教育課学校教育係長、生涯学習課生涯学習係長、生涯学習課放課後係長

### ○提案議案

議 案 第 41 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

42 号 オペラ「オペラを作ろう！小さな煙突掃除」の後援申請について

報 告 事 項 1 号 小中学校現況報告について

2 号 第 44 回「人権を理解する作品コンクール」の後援申請について

3 号 大府市楽友協会管弦楽団 第 40 回記念定期演奏会の後援申請について

開会時間 午前 10 時 00 分

閉会時間 午前 10 時 56 分

発 言 者	要 旨
委員長	<p>おはようございます。</p> <p>日程に沿いまして、先程、教育長室で議事録の承認をいたしました。</p> <p>私の報告ですが、皆さんと一緒に出た分しかありませんけど、8月4日木曜日には、教育懇談会が行われました。通学路の安全、それから、次年度の予算要望等ありまして、市長さんから非常に前向きなお言葉を頂いたという印象を持っております。それから、5日は東海大会、全国大会の出場激励会ということで、皆さんと出席させていただきました。9日は、夜の会ではありますが、例年、校長先生方と、事務局の皆さんと一緒に暑気払いの会という事で楽しい会をやらせていただきました。15日は中学の海外派遣の出発式に出ました。今回は、北中の校長さんが団長でございます。南中のホームページで色々見させていただきましたけど、楽しい研修旅行であったと思います。</p> <p>遠野の方にも都市間交流ということで小学生が出発、それが8月17日でございます。以上です。それでは、教育長報告をお願いいたします。</p>
教育長	<p>本日は二点ご報告を申し上げたいと思います。</p> <p>まず、1点目は夏休み子どもたちの様子についてです。</p> <p>この夏も色々な理由で小中学生の尊い命が失われたというニュースが相次いでおります。その報道に接するたびに、他人事と思えずに心を痛めておりましたけれども、幸い本市におきましては落ち着いた二学期がスタート出来たということで、胸を撫で下ろしています。</p> <p>実りの秋を迎えております。各学校が校長先生のリーダーシップのもと、大府市の学校教育方針ですとか、各校の学校経営方針の具現化に向けて、実りの多い秋を迎えていただけることを期待しているところです。</p> <p>さて、夏休み中子どもたちの様子について一つだけご報告をしておきます。それは、小中学校の部活動交流についてであります。これは、小中連携教育の一環として取り組んでいるものでございますが、8月5日と25日の二日間に分けて行いました。小学生は決められた通学路を確認しながら、自転車通学者は自転車を使い、徒歩通学者は歩いて通うことになる中学校へ向かいまして、希望する部活動で約1時間半体験入部を行いました。小中学生が緊張しながらも中学生気分を味わえた、嬉しそうなかんだ表情をしている子どももおりましたし、中学生は中学生で新チームになって間もない時期ですから、先輩ぶりもまだ板についていないのですが、先輩としての誇らしげな表情を見せながら小学生を丁寧に指導しているという姿を見て、いい会だなという事を改めて感じました。これからもこの経験を活かして中学校でいい形で生活を送ってくれるといいなと思っております。</p> <p>2点目は教職員の研修についてです。</p> <p>8月25日、武蔵野大学の貝塚茂樹先生を講師にお迎えしまして道徳の研修会を行いました。小学校では平成30年度から、中学校では31年度から特別の教科「道徳」が実施されることになっています。道徳の教科化について、その意図につきまして、国がこれまでの道徳の授業が軽視されがちであったので、検定教科書を導入して着実に行われるようにすると説明をしております。愛知県におきましては、独自の道徳資料「明るいこころ」「明るい人生」を用いて道徳の授業を積み上げてきておりますので、道徳の時間が軽視されているという国の指摘は当たらないと思っております。しかし、授業の質については従来の実践を謙虚に振り返って、今回提起されています考え議論する道徳授業というものへと質的な転換を図ることが強く求められているので、この点においては講師さんの話が大変刺激的でありました。また、小学校の外国語活動ですとか、ICTですとか、いろんなことが今の先生方には求められているわけですが、こうした時代の要請に応える力を付けるために、積極的に研修会が開催されておりました。先の講師である貝塚先生は「考え議論する道徳を目指してアクティブラーニングの視点を取り入れた授業をしようと思ったら、まず、教師が考え学ぶアクティブラーナーにならなければならない。」こういう言い方で講義を締めくくられましたけど、まさにその通りだなという実感をいたしました。学ぶ教師。学ぶ子どもたち。その将来を大いに期待して、教育長報告とさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>

発 言 者	要 旨
委員長	二点についてお話がありました。それでは議案に移ります。議案 41 号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」を審議いたします。ご説明をお願いします。
学校教育課長	議案 41 号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について（学校教育課分）」を説明いたします。（以下、提案理由等資料により説明）
生涯学習課長	議案 41 号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について（生涯学習課分）」を説明いたします。（以下、提案理由等資料により説明）
委員長	はい、ありがとうございました。レジメを事前にいただいておりましたので、目を通していただいたかと思いますが、両課長さんの方から、今、外部評価についての説明がございました。まず、質問がある方をお願いします。
浅井委員	はい。
委員長	はい、浅井委員さんをお願いします。
浅井委員	はい。17 ページの 4 番の協働というところですが、「いつも社会のルールやマナーを守っている」と回答した児童生徒の割合というのが、26 年度 93 パーセント、27 年度 92 パーセントなのですが、目標が 90 パーセントに減っているのと、中学生の方も 26 年の実績が 90 パーセント、27 年度の実績が 94 パーセント、これの目標が 85 パーセントって、これはどうして下げたのでしょうか。私の感覚からすると、「もうちょっと守らなくていいよ」と言っているような感じがするのですが、この数字は大丈夫でしょうか。
委員長	はい、説明には無かったのですが、参考資料等で添付しているものの中からご質問がありました。課長さんお願いいたします。
学校教育課長	この件については、ずっと、90 パーセント、85 パーセントというのは固定で、この期間中変わらない形にしていますから、予想以上に子どもたちの「マナーを守っている」と回答した子が最初から超えて多かったという事になってしまいますので、途中で目標は計画期間中ですので、変えるという事が出来なくて、計画期間が終わればまた更に上げていくという事は出来るかもしれないですけど、計画期間中は同じという事になりますので、すみません、お願いいたします。
浅井委員長	ありがとうございました。あと、もう一点確認したいのですが、17 ページがわかりやすいと思うのですが、1 番の「徳育」の年間 30 日以上欠席している小学生の割合というのが、18 人から 31 人に増えて、いわゆる 0.3 パーセントから 0.6 パーセントに上がっているのですが、ほぼパーセントでいうと倍増に近くなってしまっているのですが、人数的に少ないから通常より上なののでしょうか、それとも何か原因があったのかっていうのと、あと人数が 18 人から 31 人に増えたという場合、二通り考え方があって、全学年がちょっとずつ不登校が増えた場合と、あと今年の一年生がぐっと不登校が多かったという場合と考えられると思うのですが、実際のところどうなののでしょうか。そんなに気にする程の差ではないのでしょうか。
委員長	はい、今、児童生徒指導推進事業の資料の 6 ページの不登校の数についてのご質問ですが、お願いします。

発 言 者	要 旨
学校教育課長	はい、これにつきましては、浅井先生は 17 ページの表を見られていましたけど、6 ページの児童生徒指導推進事業ですね。小学校は 18 人から 31 人に増えておまして、単純に人数が増えたから不登校率も 0.32 から 0.57 に約 0.6 パーセントに上がってしまったというのが実際のところとなります。理由につきましては、たまたまそういう子が多かったという風にお答えするしかできないと思いますけど。そういうこととなります。
委員長	この、小学校の児童の不登校率の上昇というのは、これから少し警戒をしながら見ていかないといけない数字ではあるかと思えます。 はい、教育長さんお願いします。
教育長	はい。今日、委員の皆さんの机の上に『第 2 次大府市教育振興基本計画』、これは、また改めて、お目通しいただければ結構ですが、これの 30 ページをお開きいただきますと、今、浅井委員さんからご指摘をいただいた不登校に関するデータの経年の数字をお示してございます。これを見ていただきますと、年によって多い少ないということが出てきていて、でも、25 年、26 年、27 年ここ 3 年間くらいを見ていただきますと、小学校が 21、23、31 と増えてきています。また、中学校においても 71、99、99 ということでやっぱり微増の傾向があることは否めない事実です。ですから、この辺りのところ、大府市の生徒指導上の諸問題につきましては、いわゆる非行傾向ですとか、そういった問題は特にはないのですが、この不登校の状況については大きな課題だと思っておりますので、いろんな方策を講じながら学校へ足が向くような対応を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。以上です。
委員長	ありがとうございました。教育長さんから補足説明がありました。不登校の問題は小学校の先生方だけの問題ではなくて、学校教育に対する家庭の期待というものが、だんだん下がってきているというのが事実だろうと思えます。ですから、学校から保護者への対応についてもいろいろ各学校が充実した活動をすれば理解も得られるでしょうし、子どもたちが学校で学ぶという意味を、小さなうちから子どもたちにも語っていくことが大事だと思っております。 別件で何かございましたら。
	(質問無し)
委員長	では、ご意見ございませんでしょうか。 なければ、この件につきましては外部評価委員の意見を聞きました。行政を推進する立場の事務局の皆さんは大変でしょうけども、お金がいることでございますので、外部委員の方からご指摘があってもすぐにとすることは出来ませんが、こうした評価を参考にしながら進めて頂きたいと思えます。
委員長	次の議題 42 号「オペラ「オペラを作ろう！小さな煙突掃除」の後援申請について」を審議いたします。ご説明をお願いします。
学校教育課 庶務施設係長	議案第 42 号「オペラ「オペラを作ろう！小さな煙突掃除」の後援申請について」を説明いたします。(以下、提案理由等資料により説明)
委員長	今年度の春休みに実際は公演が行われるもので、子どもたちの団員募集も含めて説明がありました。この件につきましてご質問等ございましたらお願いします。
委員長	先ほど説明にもありましたように前回は却下しておりますが、今回は会場が大府市である

発 言 者	要 旨
	と同時に子どもたちも出演できるということのようでございます。 ご意見等ございましたらお願いします。
竹中委員	これはもう練習が始まっているということですよ。
学校教育課 庶務施設係長	はい、実際に9月1日から大府支部が設置されておりまして、前回知多市で8月に公演をされた際にチラシは配布されておりますので、大府市の方が見に行かれていますと、練習が始まっていることはあるかもしれません。
竹中委員	この後援申請は、これからやっていくうえで教育委員会も後援していますよということをどのような場でお知らせするのですか。
学校教育課 庶務施設係長	この許可を受けた以降に、学校や施設等で募集チラシを改めて配布をしたいということで申請をいただいています。
竹中委員	これからさらにということですね。
学校教育課 庶務施設係長	はい。
竹中委員	わかりました。
委員長	ご意見ございましたら。 浅井委員さんお願いします。
浅井委員	これはどちらかというと、なないろ歌劇団の募集ということですよ。
学校教育課 庶務施設係長	はい。そのようなことにもなります。
浅井委員	参加費が3,000円というのは良心的なのか、高いのか安いのか全然分からないのですが、どうですか。
委員長	はい。 竹中委員さんお願いします。
竹中委員	私もこの3,000円というのがよくわからないと思いました。普通3,000円では無理なのではないかと。かつてミュージカルをやられたことのある永田委員だったら、費用の問題はすごく大きいと思うのですがどうですか。
委員長	永田委員さんお願いします。
永田委員	はい。私が前にやった時は参加する費用として、この10倍の1人3万円をいただいていた。その時に保護者の方からいただいたご意見としては、半年間稽古をして、実際に舞台に立つ機会があるということで、逆に「これだけでいいの？」と言われました。この3,000円というのは非常に安いので運営が成り立つかどうか。費用は高くはないと。子どもたちが

発 言 者	要 旨
	<p>非常にいい経験が出来るので、当時出ていた子どもたちと今でも会う機会があるのですが、その時の経験を生かして今でも頑張っているという子どもが沢山います。実際には、結婚されて親になられて、子どももいるという人もいますが、ご自身の子どもに対しても過去の自分の経験を話して、子どもに色々な習い事をさせるとか活きているところがありますので、こういった機会で大府市の子どもも出られるということですので、大変いいことだと私は感じております。</p>
委員長	<p>費用の件で言えば教材費別途と書いてありますから、衣装とかいろいろ掛かるのでしょうけれども、永田委員さんから、参加する子どもたちにとっては将来子どもたちの成長にとってはいい経験であろうというお話もございました。特別反対意見が無ければ、今回は会場が大府市で行われるということ、それから興味ある子どもたちが参加し、そこで違ったことを学んで成長していくという観点から、後援を許可するというところでよろしいでしょうか。</p>
	(異議なし)
委員長	<p>議題 42 号「オペラ「オペラを作ろう！小さな煙突掃除」の後援申請について」は承認いたします。 続きまして、報告事項をお願いします。</p>
指導主事	<p>報告事項 1 号「小中学校現況報告について」報告。 二学期が始まりました。夏休み中は子どもたちがいろいろな所で活躍していると、私どもの方にも届いております。学校で勉強したことや学校で身に付けたことが、いろいろな場で発揮できるといいなと思っております。二学期も頑張ってもらいたいと思います。以上です。</p>
委員長	次の報告をお願いします。
学校教育課 庶務施設係長	報告事項 2 号「第 44 回「人権を理解する作品コンクール」の後援申請について」報告。(以下、資料により説明)
学校教育課 庶務施設係長	報告事項 3 号「大府市楽友協会管弦楽団 第 40 回記念定期演奏会の後援申請について」報告。(以下、資料により説明)
委員長	<p>ありがとうございました。以上で終わります。 それでは、10 月の出席依頼についてお願いします。</p>
学校教育課長	学校教育課分の報告
生涯学習課長	生涯学習課分の報告